

# 第31回構造工学シンポジウム

〈共催〉 日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会構造工学委員会・日本建築学会構造委員会

- 1. 日 時 4月5日(金) 9:00~17:00
- 2. 場 所 日本学術会議会議室  
東京都港区六本木 7-22-34  
地下鉄千代田線「乃木坂」駅下車、徒歩1分
- 3. 参加費 無料、参加自由
- 4. 論文集 構造工学論文集(価格2500円)は会場で頒布しますが、3月上旬には日本建築学会でも入手できます。論文集には、土木構造に関するものと建築構造に関するものが別になっており、土木構造の論文集は土木学会あるいはシンポジウム会場で頒布します。事前に購入希望の方ははがきに次の事項を記入の上、建築学会事務局まで郵送してください(注文には希望部数、送本先、請求先、請求名義、請求名目、見積書/納品書/請求書等必要書類と枚数を明記して下さい)。折り返し納本の際支払いについてご案内します。
- 5. 問合せ先 日本建築学会事務局研究事業課 tel.03-456-2051  
野口(内線31)、中村(内線32)
- 6. 建築部門プログラム(発表時間12分、質疑応答3分(質疑はなるべく2~4編の論文をまとめて行う))

- 開会の辞 9:00 横尾義貴(日本学術会議構造工学研究連絡委員会委員)
- 相互作用系の地震応答 9:10~10:25 司会 小谷俊介(東大)
- (1) 不整形性を有する沖積地盤の地震観測シミュレーション  
—BEMとFEMの結合解法による解析—  
福和伸夫・佐藤俊明・川瀬 博・中井正一(清水建設大崎研究室)
  - (2) 埋込み構造物と地盤の動的相互作用問題に関する基本式  
吉田長行・藤谷義信(広島大)
  - (3) 弾性地盤におけるリング状線加振解  
吉田長行・藤谷義信(広島大)
  - (4) 群杭の水平抵抗に関する実用的な解析法  
富永晃司・山肩邦男(広島大)
  - (5) 円筒形液体貯槽の非線形液面動揺に関する研究  
大森博司(名古屋大)
- 荷重および構造解析 10:25~12:25 司会 和泉正哲(東北大)
- (6) 積雪荷重の評価に関する基礎的研究  
和泉正哲・三橋博三・佐々木達夫・高橋 徹(東北大)
  - (7) 東北地方に於ける年最大積雪深の統計的性質  
和泉正哲・三橋博三・高橋 徹(東北大)、近野正弘(建設省東北地建)
  - (8) 位相差分の確率特性による非定常不規則外乱の平均および2乗平均の定式化  
曾田五月也(千葉大)
  - (9) 不規則な水平荷重をうける骨組構造の信頼性解析  
河野 守・坂本 順(名古屋大)
  - (10) 弾性支持された剪断型構造物の一次固有周期制約条件下の最適設計  
中村恒善・竹脇 出(京都大)
  - (11) 有限要素法による2次元クラック先端の応力特異解の解析  
藤谷義信(広島大)
  - (12) 有限回転を考慮した薄肉弾性体の幾何学的非線形解析法  
鈴木敏郎・元結正次郎(東工大)
  - (13) 円筒殻の軸圧縮座屈に関する簡易モデル  
三船忠志・増尾龍一・坪田晴介(大阪工大)
- 昼休み(12:30~13:30)—
- 鋼構造及び鉄骨鉄筋コンクリート構造 13:30~15:15 司会 加藤 勉(東大)
- (14) 角形及び円形鋼管柱の最大耐力に関する研究  
加藤 勉・李明幸(東大)
  - (15) 管通しガセットプレート継手の耐力と変形能力に関する実験的研究  
三井宜之・黒羽啓明(熊本大)、遠藤克彦(三井建設)
  - (16) 柱鉄骨鉄筋コンクリートはり鉄骨構造に於ける柱はり接合部の耐力  
加藤 勉(東大)、田上 淳(鹿島建設)
  - (17) SRC柱S梁接合部に関する実験的研究  
鈴木敏郎・滝口克己(東工大)、加藤征宏(住友金属工業)、岡本哲美(東工大)
  - (18) 地震時における合成ばり正曲げ耐力評価  
田川泰久(横国大)、加藤 勉(東大)
  - (19) 水平繰返し外力が作用する合成梁の二次元弾塑性解析  
石川孝重(日本女子大)、平野道勝(東京理科大)
  - (20) 合成ばり架構の地震応答解析とより端フランジひずみ性状に関する研究  
松尾 彰・棕代仁朗(広島大)
- 鉄筋コンクリート構造 15:30~16:45 司会 青山博之(東大)
- (21) 連層連スパン壁の耐震特性に関する基礎的研究  
嶋津孝之・荒木秀夫・大田和彦(広島大)
  - (22) 連層壁を有する構造物の地震応答に関する簡易解析法  
嶋津孝之・荒木秀夫・西浦睦夫・香山正博(広島大)、隅田証二(広島市役所)

- (23) 鉄筋コンクリート構造の設計用地震力の算定法  
小出敏弘・永井 潔(間組)、小谷俊介(東大)
  - (24) 梁崩壊型R/C骨組を実現する柱・梁の曲げ耐力比に関する一考察  
関 弘義(北大)
  - (25) 回転壁を含む鉄筋コンクリート造骨組の地震応答解析  
加藤大介(東大)
  - (26) 超高層鉄筋コンクリート建物の耐震設計法に関する研究  
江戸宏彰・武田寿一・吉岡研三(大林組技研)
- 開会の辞 17:00 藤本盛久(構造委員会委員長)
7. 土木部門プログラム(発表時間5分、討議時間は4分程度で討議はまとめて行う)
- 開会の辞 9:00~9:05 伊藤 学(土木学会構造工学委員会委員長)
- A. 座屈・耐力・薄肉構造 9:05~10:10 座長 倉西 茂(東北大)
- (1) 2主桁下路プレートガーダーの全体座屈  
伊藤文人・野上邦栄(都立大)
  - (2) I形ばりの弾性横座屈に及ぼすウェブの変形の影響  
深沢泰晴・杉原美好(山梨大)
  - (3) 圧縮矩形板の弾性大たわみの一予測法について  
丹羽義次・渡辺英一(京大)、勇 秀憲(高知高専)
  - (4) 薄肉鋼管形けたの交番座屈挙動特性  
福本啓士(名大)、草間晴幸(豊田高専)
  - (5) 鋼柱の局部座屈と全体座屈の達成強度推定のための一モデル解析  
長谷川彰夫・安保秀範(東大)、西野文雄(アジア工科大)
  - (6) 圧縮を受ける薄肉箱形短柱の終局強度特性と終局強度算定法に関する研究  
中井 博・北田俊行・酒造敏廣(阪市大)
  - (7) 鉛直荷重を受ける薄肉鋼製ラーメンの面内座屈崩壊に関する一研究  
中井 博・酒造敏廣(阪市大)、江見 晋(阪神高速道路公団)
- 休憩(10:10~10:15)—
- B. 座屈・耐力・薄肉構造 10:15~11:25 座長 福本啓士(名大)
- (8) 無補剛平板よりなる圧縮柱の設計について  
杉本博之(室蘭工大)
  - (9) 縦・横補剛材および縦桁を有する圧縮板の一設計法  
中井 博・北田俊行(阪市大)、田井戸米好(石川島播磨重工業)
  - (10) 梁・柱部材の設計公式に関する提案  
依田照彦・薬師寺洋輔(早大)
  - (11) 全体骨組耐力に関する有効座屈長を用いた部材設計の精度  
井上純三(建設省)、竹中秀夫・長谷川彰夫(東大)、西野文雄(アジア工科大)
  - (12) 薄肉開断ばりの剛体—ばね系モデルの定式化  
深沢泰晴(山梨大)、土橋 浩(東大)
  - (13) 横つなぎ材の断面補剛効果を考慮した開断面薄肉ばりの解析  
彦坂 照・高海克彦(九大)
  - (14) 薄肉鋼製箱桁橋における中間ダイアフラムの間隔と必要剛度の簡易決定法について  
依田照彦・平嶋政治・坂元浩幸(早大)
  - (15) 一般化座標法の還元法による定式化  
神部俊一・中谷義紀(鳥取大)
- 休憩(11:25~11:30)—
- C. 有限変位・弾塑性 11:30~12:30 座長 吉田 裕(東工大)
- (16) 任意の境界条件に適用し得る扇形直交異性板のフリーエ級数解  
井浦雅司(東京電機大)、平嶋政治(早大)
  - (17) 充実断面室間棒材の有限変位理論の定式化  
後藤芳順(名工大)
  - (18) 曲げを受けるI型断面曲線プレートガーダーの有限変位挙動について  
橋渡 滋(東北学院大)、倉西 茂(東北大)
  - (19) 初期たわみを有する弾性円筒パネル円周方向内力による非線形挙動  
三上市蔵(関西大)、矢部幸男(清水建設)
  - (20) 等価M-φ関係を有する平面骨組の一弾塑性解析  
成行義文・平尾 潔・兒嶋弘行(徳島大)
  - (21) 新離散化モデルによる基礎を考慮した骨組構造物の極限解析  
三藤正明(五洋建設)、竹内則雄(国際テクノロジーセンター)、川井忠彦(東大)
  - (22) 非軸対称荷重を受ける軸対称体の有限要素解析における不連続面の取扱いについて  
小堀為雄・近田康夫(金沢大)
- 昼食・休憩(12:30~13:30)—
- D. 安全性・信頼性・最適設計 13:30~14:25 座長 石川信隆(防衛大)
- (23) Dual Approachによるトラス部材の最適鋼種の決定法について  
大久保慎二(愛媛大)、谷脇一弘(川田工業)
  - (24) 弾性および塑性解析法の破壊確率による評価  
西野文雄(アジア工科大)、佐藤尚次・長谷川彰夫(東大)、山脇良雄(科技厅)
  - (25) 鋼桁の強度評価と限界状態設計  
大塚久哲・彦坂 照(九大)
  - (26) 統計データからの分布形・特性値の決定  
杉山俊幸(山梨大)、藤野陽三・伊藤 学(東大)
  - (27) 自動車列のフローを考慮した活荷重の確率的解析手法  
藤野陽三・高田和彦(東大)
  - (28) 都市高速道路金架橋におけるラーメン橋脚の信頼性解析  
白木 渡・高岡宣善(鳥取大)、松保重之(舞鶴高専)、  
山本克之(総合技術コンサルタント)
- 休憩(14:25~14:30)—
- E. 橋梁一般・合成構造 14:30~15:40 座長 田島二郎(埼玉大)

- (29) 影響因子を考慮した平行線ケーブルの疲れ強さ解析  
松川昭夫・亀井正博(大阪市), 福井義典・佐々木佳男(神戸製鋼)
- (30) 太径 HiAm ケーブルの定着構造に関する研究  
牧野文雄(大阪府), 小松定夫・西村宣男(阪大), 上田浩太(松尾橋梁)
- (31) 定着方式の異なる長大斜張橋の力学特性比較  
大塚久哲・吉田 武・太田俊昭・今井富士夫(九大)
- (32) 変形法による吊橋の影響線手法の適用に関する研究  
大月 哲(長大), 東原紘道(埼玉大)
- (33) 鋼床版橋におけるグースアスファルト打設時の熱応力特性およびその評価法  
熊谷洋司・勝野寿男・渡辺保之(三菱重工業), 依田照彦(早大)
- (34) 道路橋鋼板・コンクリート合成床版(Robinson型床版)のずれ止めの設計に関する一手法  
園田恵一郎・堀川都志雄(阪市大), 広瀬清泰(大建構築)
- (35) プレキャスト床版を用いた合成桁の耐荷性に関する実験的研究  
中井 博(阪市大), 岸田博夫・竹中裕文(春本鉄工所)
- (36) RCセグメント継手部の構造モデル化に関する試験とその考察  
西野健三・近藤寛通・吉田和夫(中部電力)  
—休憩(15:40~15:45)—
- F. 地中構造・弾性波 15:45~16:50 座長 伯野元彦(東大)
- (37) 不完全液化時における地中埋設管模型の動的挙動  
北浦 勝・宮島昌克(金沢大), 吉岡正修(日本橋梁)
- (38) 地盤急変部における埋設管路の地震時挙動に関する一考察  
佐藤紘志・石川信隆(防衛大)
- (39) ショックチューブによる土-構造物系の動的相互作用に関する実験的研究  
藤本一男(防衛庁)
- (40) 衝撃波を受ける粘性土中に埋設されたパイプの動的応答解析  
藤本一男(防衛庁), 森 雅美・石川信隆(防衛大)
- (41) 入射せん断波を受ける弾性体中にある厚肉円筒の動的応答  
松岡健一・岸 徳光(室蘭工大), 能町純雄(北大)
- (42) 弾性地盤上スラブの動的解析とそのオーバーレイ問題への適用  
横田 漢・藤本 広(宮崎大)
- (43) 地表面における常時微動の波形を用いた地盤の減衰定数の評価法  
北浦 勝・池本敏和・日比野友亮(金沢大)  
—休憩(16:50~16:55)—
- G. 動的応答・耐震 16:55~18:00 座長 山田善一(京大)
- (44) 減衰振動系の応答解析法の検討について  
水田洋司(八代高専), 平井一男(熊大)
- (45) 極限解析による斜面上基礎の地震時支持力  
能町純雄(北大), 沢田知之(苫小牧高専), 松岡健一・岸 徳光(室蘭工大)
- (46) 入力地動を用いないダム振動の逆解析  
大町達夫(東工大), 片岡俊一(清水建設)
- (47) 曲げとせん断を考慮した2次元切頭くさび形梁の固有振動解析  
岸 徳光・松岡健一(室蘭工大), 能町純雄(北大)
- (48) 地上タンクの地震時浮き上がり挙動に関する基礎的研究  
山口宏樹・秋山成興(埼玉大)
- (49) 底板の浮き上がり変形をとまなう円筒タンクの地震時変形解析  
頭井 洋・新家 徹(神戸製鋼)
- (50) 水中円柱の動的応答に対する種々の波動理論に基づく波力算定の影響  
中村秀治・神山 勉(電力中央研究所)
- 閉会の辞 18:00~18:05  
伊藤文人(土木学会構造工学委員会構造工学論文編集委員会委員長)

構造工学シンポジウム論文集バックナンバー頒布ご案内

下記のバックナンバーの在庫があります。ご希望の方は最寄りの窓口まで代金を添えてお申し込みください。

日本建築学会資料頒布所 〒108 東京都港区芝 5-26-20 tel.03-456-2018

土木学会事務局刊行物販売係 〒160 新宿区四谷 1丁目 tel.03-355-3441

- ・第 6 回構造工学シンポジウム論文集 <内容>プレストレスト構造に関する研究 1000円(送料300円)
- ・第 7 回 <内容>鋼構造に関する研究 1000円(送料300円)
- ・第 12 回 <内容>構造物における高張力鋼とその接合に関する研究 1000円(送料300円)
- ・第 16 回 <内容>構造物またはその構成要素の終局強度に関する研究 1000円(送料300円)
- ・第 17 回 <内容>新材料・新工法を用いた構造物における諸問題に関する研究 1000円(送料300円)
- ・第 18 回 <内容>構造物およびその構成要素の強度と安全性 1300円(送料300円)
- ・第 20 回 <内容>構造物の設計に対する解析への諸問題 2300円(送料300円)
- ・第 22 回 <内容>繰り返し荷重を受ける構造物および部材の破壊とこれに関連する設計・製作上の諸問題 2500円(送料300円)
- ・第 23 回 <内容>構造物の設計・製作・施工におけるコンピュータ利用上の諸問題 1700円(送料300円)
- ・第 24 回 <内容>構造の非線形問題, 構造工学研究の現状と問題点 2300円(送料300円)
- ・第 26 回 <内容>苛酷な条件下における構造物の設計又は施工上の諸問題 2500円(送料300円)
- ・第 27 回 <内容>構造物の限界状態と信頼性を基礎とする構造物の設計法 3000円(送料350円)
- ・第 28 回 <内容>建設工事における構造安全の確率論的研究 3000円(送料350円)
- ・第 29 回 <内容>既存構造物の診断・補修・保守等に関する諸問題 4000円(送料350円)
- ・第 30 回 <内容>新しい構造, 新しい工法 4500円(送料350円)